

概要 保健、医療、福祉の環境を取り巻く状況が大きく変化する中で、総合的、計画的に保健医療を推進し、市民の健康づくりを進める。

総合評価

C

客観指標評価は、脳血管疾患による死亡率が増加しているものの、がん及び心疾患による死亡率が下がっていることから、やや良い傾向にある。健康に関する正しい情報提供の機会について問うた市民の生活実感はどちらとも言えない。この客観指標に関しては、b評価ではあるが今回の評価だけでは、取組の効果によるものか判断が難しく、さらに中長期的な推移を踏まえる必要がある。このことを考慮しつつ両評価を総合的に勘案し、施策の目的はそこそこ達成されていると評価する。

この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: b

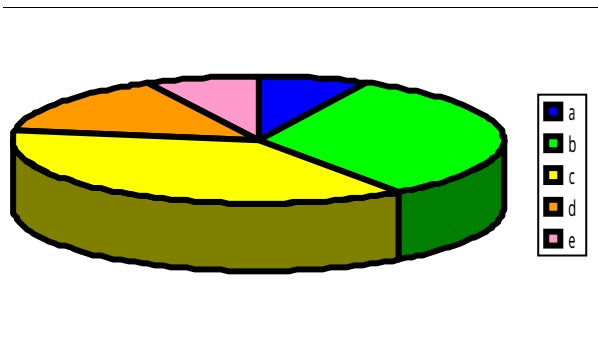
指標名とその前年値、現在値、目標値、達成度

評価

指標名とその前年値、現在値、目標値、達成度	前年値	現在値	目標値	達成度	評価
生活習慣病による死亡率(がん)(人口10万対)	248.2	243.5			a
生活習慣病による死亡率(心疾患)(人口10万対)	120.2	115.3			a
生活習慣病による死亡率(脳血管疾患)(人口10万対)	90.3	91.6			e

この施策に関する市民生活実感評価

日常生活の中で色々な機会を通じて健康に関する正しい情報が手に入る。



答a: そう思う	27	7.1%
答b: どちらかというと思う	125	33.1%
答c: どちらとも言えない	140	37.0%
答d: どちらかというと思う 思わない	58	15.3%
答e: そう思わない	28	7.4%
有効回答数	378	
市民生活実感評価		C

<参考> この施策実現のための主な事業

事業名

京都市民健康づくりプラン普及及び推進事業